

Service News [サービス・ニュース]

文化財コーナーが設置されました

文化財に関する図書として、日比谷図書文化館文化財事務室(旧四番町歴史民俗資料館)の発行した資料、および全国各地の博物館や歴史資料館の特別展、企画展の図録をまとめました。カラフルな装丁の図録は、パラパラとめくっているだけでも楽しめます。また、見逃してしまった展覧会の図録が見つかるかもしれません。調べものや情報収集にぜひ、ご活用ください!



場所:2階パープルゾーン奥

「千代田の古文書」
千代田区教育委員会 / 編集・発行2009年

「浮世絵から写真へ 視覚の文明開化」
東京都江戸東京博物館、岡塚章子、我妻直美 / 編著 (青幻舎)2015年

「よみがえれ! シーボルトの日本博物館」
国立歴史民俗博物館 / 監修 (青幻舎)2016年

4月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「東京×発見」(~5/12)
「現代の東京、これからの東京」に焦点を当て、食、寄り道、アート、2020年などの小テーマに分けて東京を紹介します。身近な街の新たな一面が見つかるかもしれません。
- 2F ホール** 「ポモージュ「わたしの一冊」連載4周年記念」(~4/14) **NEW!**
広報誌ポモージュの「わたしの一冊」コーナーが、今年で連載4周年を迎えました。そこで、これまでに紹介した当館スタッフの推薦本のうち、当館に所蔵のある本を一堂に集め展示します。今回新たにお薦めする本とともにご覧ください。
- 3F ブルーゾーン** 「ビジネスパーソンのための〇〇道」(~4/14)
茶道や華道などのいわゆる「お稽古事」だけでなく、自分を成長させることのできる「道」や、対人関係のマナーや趣味等をさまざまな「道」として紹介し、ビジネスやプライベートの場において役に立つヒントを発信する展示です。

From Chiyoda Library 千代田区立図書館からのお知らせ

【4月の休館情報】
千代田区立図書館システムの調整(4月23・24日)のため、区内図書館は4月の休館日が一部変更になります。休館中の図書などの返却は、ブックポストをご利用ください。(一部資料を除く)また、千代田区立図書館ホームページ(<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp>)は4月22日(土)22時頃~25日(火)8時まで利用できません。(日比谷図書文化館ホームページは閲覧のみ利用可)

3F グリーンゾーン 【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

「数字をよみとく本棚」 ~6月16日(金)

私たちは昔から「数」とともに生きてきました。数の発見や発明から数学が発達し、時間という概念をつくり、お金が登場し、経済によって生活が成り立っています。この展示は人と数との関わり合いを様々な視点からよみとく本棚です。また、図書館ではどのように本を並べているのか、図書分類法についても学べる展示です。

数学者
天才と称され、偉大な業績の影に隠された数学者たちの生涯に、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

数学小説・随筆
問題を解けなくても、数学を題材にした小説や学者たちのエッセイから、その面白さを共感することができます。

日比谷カレッジ報告

3/2 (木)

使い続ける重要文化財 東京駅の保存・復原・活用を考える

講師: 田原 幸夫 (京都工芸繊維大学大学院 特任教授)

10年にわたる復原プロジェクトでは、安全性を確保することと文化的価値を守ることの両立のため、どのような理念のもとに進められたのかを、多くの図面や貴重な写真を交えながらお話いただきました。「震災復興時の姿も含め、全ての時代の価値を残すことが重要」という講師の言葉からは、東京駅を大切にできた人々への敬意、そして復原に注がれた熱意と愛情が伝わってきました。

東京駅丸の内駅舎 保存復原設計監理室・設計監理総括を務められた田原氏

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

「新しいスタート 日比谷で学ぶ」

日比谷図書文化館では、本を読み、調べるだけでなく、4月からの新しいスタートを始める皆様にも役に立つ様々なサービスを行なっています。都会のオアシス、日比谷公園の緑の中にある当館を、新たな興味や関心が広がる「学び」の拠点として、是非ご利用下さい。

Study at Hibiya Library & Museum

さまざまな「学び」の場。 快適なスタディールーム。 ほっと一息リラックス。

【日比谷カレッジ】
ビジネススキルアップや江戸・東京の歴史文化、アートなど多彩なテーマで、講座やセミナー、ワークショップなどを開催しています。知識が深まり、新たな関心が発見できます。

【特別研究席】
四季折々の日比谷公園を一望できる32席を用意。全席に電源コンセントと無線・有線LANを備え、ビジネスパーソンに好評です。
▶開室時間: 平日10時~20時 土曜10時~18時 日曜・祝日10時~16時
▶利用料金: 300円/2時間(2時間単位で延長可)

【Library Shop & Café Hibiya】
(ライブラリーショップ&カフェ 日比谷)
カフェは、大きな窓のある開放的な空間。サンドイッチやスイーツ、ドリンク類が楽しめ、図書フロアの書籍を持込むことができます。お気に入りの場所でゆったりお過ごし下さい。
▶営業時間: 平日10時~19時 土曜・日曜・祝日10時~17時

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日 部分休館日 information

2017年 4月							2017年 5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

4月の部分(図書フロア)休館についてのお知らせ

■ 部分休館日: **4月23日(日)・24日(月)**

図書館システムの調整に伴い、2・3階の図書フロア部分を臨時休館します。図書フロア以外の施設は通常通り利用できます。また、館内での有線・無線LANの接続ならびにホームページ上の一部のサービス(ホール・会議室の貸室予約、蔵書検索、千代田Web図書館など)も利用できません。※4月17日(第三月曜日)は全館休館です。(定期休館日)

千代田区立図書館(室)の休館情報については裏面をご覧ください。

4・5月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

4/5 (水) 他 **躍動するクラシック**
 ～心と身体の鼓動から生まれた舞曲たち(全2回)～
 「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017」を前に～
 講師:オヤマダアツシ(音楽ライター)

最も原初的な表現行為であるダンスは、常に音楽とともに民衆の中から生まれ、ごく早い時期からクラシック音楽に影響を与えてきました。2017年は、バロックから今日まで400年間にわたるダンスと音楽の密接な関係をたどります。(協力:東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)

■日時:
 第1回 4月5日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 「クラシック音楽を多様化させてきた多くの舞曲たち」
 第2回 4月12日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 今年の「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」はリズムに満ちている。
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:各回200名 ■参加費:各回500円



4/16 (日) **ピースビレッジ 第52回**
カミーノ・デ・サンチャゴ/熊野古道・巡礼紀行
 ～歩くこと。祈ること。新たな世界軸(axis mundi)を探して～
 講師:井島 健至(フォトグラファー)

「星の道」と呼ばれるサンチャゴ巡礼路と熊野古道・中辺路。「道の世界遺産」として世界中から数多くの巡礼者／観光客を惹きつける二つの「道」を歩いた移動の軌跡を通して感じた現代における「聖地巡礼」の意味についてお話しします。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム 共催:日比谷図書文化館)

■日時:4月16日(日)14:00～16:30(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:3000円



4/18 (火) 他 **大正ロマンの画家**
竹久夢二の魅力(全2回)
 講師:石川 桂子(竹久夢二美術館 学芸員)

センチメンタルな“夢二式美人画”だけでなく、デザイン作品や詩歌も多く手がけ、マルチアーティストとして活躍した竹久夢二作品と、恋や旅を重ねたドラマチックな人生を俯瞰し、さらに東京から「可愛い」を発信し、少女文化をリードした仕事も紹介します。

■日時:
 第1回 4月18日(火)14:00～15:30(13:30開場)
 夢二の生涯と芸術
 ～知られざる素顔に迫る～
 第2回 4月25日(火)14:00～15:30(13:30開場)
 東京を再発見!夢二の視点より
 ～ゆかりの街と描かれた風景、100年前に発信した「可愛い」～
 両日とも ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:各回200名 ■参加費:各回1000円(千代田区民 各回500円)



セノオ楽譜「待春賦」1924年

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

4/21 (金) **出版社と図書館が築く新しい時代**
 講師:菊池 明郎(株式会社筑摩書房 元代表取締役社長)
 下中 美都(株式会社平凡社 代表取締役社長)
 富澤 凡子(柏書房株式会社 代表取締役社長)

現在の出版界が置かれている状況、出版社と図書館、著者 書店との関わりを出版界の現場から、出版社と図書館は何かができるのか、さまざまな角度から皆さんと一緒に考えます。

■日時:4月21日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:500円



左から 菊池氏/下中氏/富澤氏

4/26 (水) **聞こえない世界と聞こえる世界をつなぐ**
ユニバーサルデザイン
 講師:松森 果林
 (“聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ”ユニバーサルデザインアドバイザー)

障害者差別解消法施行から一年。ここでは、外見で分かりにくい聴覚障害者が感じるバリアや情報格差、また、目で見える言葉である手話の魅力について、中途失聴となり、「聞こえないことを強み」とする講師が、テーマパークや羽田空港国際線ターミナルなどのユニバーサルデザイン事例とともに話します。

■日時:4月26日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円 ※障害者手帳をお持ちの方は、ご提示により付添いの方1名様に限り無料。(ご本人様は参加費が必要です。)



4/27 (木) **パリの“幻の漆芸家”菅原精造**
 —アール・デコを支えた日本人—
 講師:熱田 充克(歴史ジャーナリスト)

明治時代にパリに渡り、ヨーロッパの工芸家たちに日本の伝統技法を伝えた漆芸家、菅原精造。芸術の潮流「アール・デコ」に大きな影響を与えましたが、一度も帰国せずフランスで死んだため彼を知る人はほとんどいません。藤田嗣治が「私の師だった」と述べた「幻の漆芸家」の業績を紹介します。

■日時:4月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



像を制作中の菅原精造

4/28 (金) **「多数決」を問い直す!**
多数決が開けた21世紀のバンドラの箱
 講師:坂井 豊貴(慶應義塾大学経済学部教授)

「多数決」と聞くといかにも多数意見が反映されるようですが、多数決が多数意見を反映するとは限りません。2000年のアメリカ大統領選では、優位に立っていたゴアの票を「第三の候補」ネーダーが致命的に喰い、ブッシュが「漁夫の利」で逆転勝利をおさめました。多数決の改善案と、トランプ大統領の誕生に至った21世紀の人類史を考えます。

■日時:4月28日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



5/10 (水) **VR2.0の世界**
 講師:廣瀬 通孝(東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)

昨今注目を集めているVR(バーチャル・リアリティ)技術は、初めて言葉が使われた1989年とは技術的・社会的な環境が全く異なり、VR2.0とでも呼ぶべきものだろう。VR技術の過去と現在について解説し、VR2.0はどう進化していくのか、どう我々の考え方や産業や社会に影響を与えていくのか、いろいろな角度から考えたい。

■日時:5月10日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



5/13 (土) **日米マンガ発展史が触れ合った時代**
 —1930年代～1950年代—
 講師:小野 耕世(海外コミック研究家・翻訳家)

日本のマンガ史のなかで、ストーリー・マンガの〈起爆点〉は1930年代だったのではないか。この時期、ジョージ・マクマナスの「親爺教育」などアメリカのマンガも日本で人気があった。日米マンガ発展史がからみ合っていたその頃から、戦後に続く日本のマンガの世界でも突出した進化の道筋をたどってみたい。珍しい日米マンガ画像を多数お見せします。

■日時:5月13日(土)14:00～16:00(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



5/16 (火) **少女小説は死なない** —水室冴子から現在まで—
 講師:嵯峨 景子(明治学院大学非常勤講師)

多くの読者を魅了してきた少女小説。懐かしの70年代から現在に至るまでの変遷を、豊富な図版資料とともに紹介します。コハルト文庫を中心に、ティーンズハートやビーンズ文庫など、各レーベルの動向や流行ジャンルの変動を時代背景と関連付けつつ考察していきます。

■日時:5月16日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円



5/19 (金) **日本人の心と「いけばな」** いけばなを読み解く
 講師:石渡 雅史(池坊中央研修学院 講師)

「花をいける」という言葉には、実は深い意味があります。仏前供花に始まり、室町時代に大成された「いけばな」。戦国武将に愛され、男性の嗜みのひとつでもありました。本講座では、形として残らない「いけばな」が、550年以上も続いていることに注目し、いけばなの歴史と、その見方についてお話しします。(協力:一般財団法人 池坊華道会)

■日時:5月19日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



立花 砂之物(講師:石渡雅史作)

5/19 (金) **千代田区民講座**
名場面をつづる 日本劇映画100年
 講師:林 勝彦(元NHKプロデューサー、記録映画「いのち」監督)

日本劇映画の魅力を紹介して好評を博した講座『映像で語る日本劇映画100年』の続編として、「リンゴの唄」から始まり、日本初のカラー作品「カルメン故郷に帰る」、小津安二郎監督の「晩春」、国内外で数々の賞を受賞した「裸の島」などの名作について再び語ります。(主催:NPO法人 神田雑学大学 共催:日比谷図書文化館)

■日時:5月19日(金)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料
 ※2017年4月5日(水)から千代田区民受付開始。区民以外は4月12日(水)から受付開始。



5/11 (木) **こどもの読書週間in千代田区立図書館 “ヨミキクちよだ2017”**
ビジネスパーソンのための「読み聞かせ」講座
ブラッシュアップ! 実践ワークショップ編
 講師:児玉 ひろ美(JPIC読書アドバイザー)

読み聞かせの悩みに効く、ブラッシュアップ講座です。基本的なことの確認からはじめ、ワークショップを通じて、日ごろの疑問や悩み、苦手なことを一緒に楽しく解決しましょう。この一年に読み聞かせをした絵本の中から、お気に入りの一冊をご持参ください。

■日時:5月11日(木)19:00～21:00(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:30名 ■参加費:無料



古文書塾てらこや本講座
 古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を募集しております。

◆古文書の魅力に出会う【入門コース】
 筆字のくずし字を初歩から学べます。

◆古文書から見えてくる多様な世界に感動する【本科コース】
 くずし字の史料を読み解いて歴史の真実に迫ります。

◆歴史の躍動を感じる【特別講座】
 江戸時代の多様な姿・史料を用いて、歴史の具体像を楽しみます。



	講座名	曜日・時間	初回日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(金) 18:30～	4/14
	いろはの次 — 大江戸大変	(月) 18:30～	4/10
	いろはの次 — 江戸時代の海外知識	(金) 10:30～	4/14

本科コース 120分	文人画と碑文 一掛軸を読む	(月) 18:30～	4/10
	武家文書を読む 一幕府崩壊事情	(水) 13:30～	4/5
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(金) 18:30～ (土) 13:30～	4/7 4/8

特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	4/4
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	4/4
	浮世絵を読む【紅色クラス】	(水) 10:30～	4/5
	浮世絵を読む【藍色クラス】	(水) 10:30～	4/19
	江戸美人を造る—『都風俗化粧(けわい)伝』を探る	(水) 13:30～	4/12
	豪商 三井の最高意思決定—「大元方」の史料を読む	(水) 19:00～	4/12
	江戸を楽しむ 一統・江戸の寺社あれこれ 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(木) 18:30～ (土) 10:30～	4/6 4/8

■期間:4月4日(火)～順次開講 ■会場:4階 セミナールーム(会議室)
 ■定員:23名(申込順)
 ■参加費:【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6ヶ月分。別途資料代1,000円)【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)
 ※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。

特 別 研 究 室 企 画 展 示

ロシア革命から100年
 ～国際派官僚の書棚で触れる近代ロシア

4月18日(火)
 6月30日(金)

今年は1917年のロシア革命から100年という節目の年です。そこで、特別研究室では内田嘉吉文庫にある19世紀から1930年代を中心としたロシア関連の和洋図書を展示します。近代ロシアとはどのようなものだったのか。内田嘉吉の蔵書からその一端に触れてみてください。

冬宮殿の正面と海軍本部側
 (「40vues de Saint-Petersbourg」/ Edition Velten)



ポモロノ又広報室より

千代田区の区花でもある桜。区内には、千鳥ヶ淵をはじめ桜の名所が数多くあります。3月28日(火)からは「千代田さくら祭り」が行われ、各所で様々なイベントが行われます。また、日比谷図書文化館内でも2・3階の一部の席から日比谷公園の桜が眺められるほか、1階の常設展示室では「皇居東御苑」で採取されアクリル樹脂で保存された桜を見ることが出来ます。今年の春は千代田区で桜めぐりはいかがでしょう。